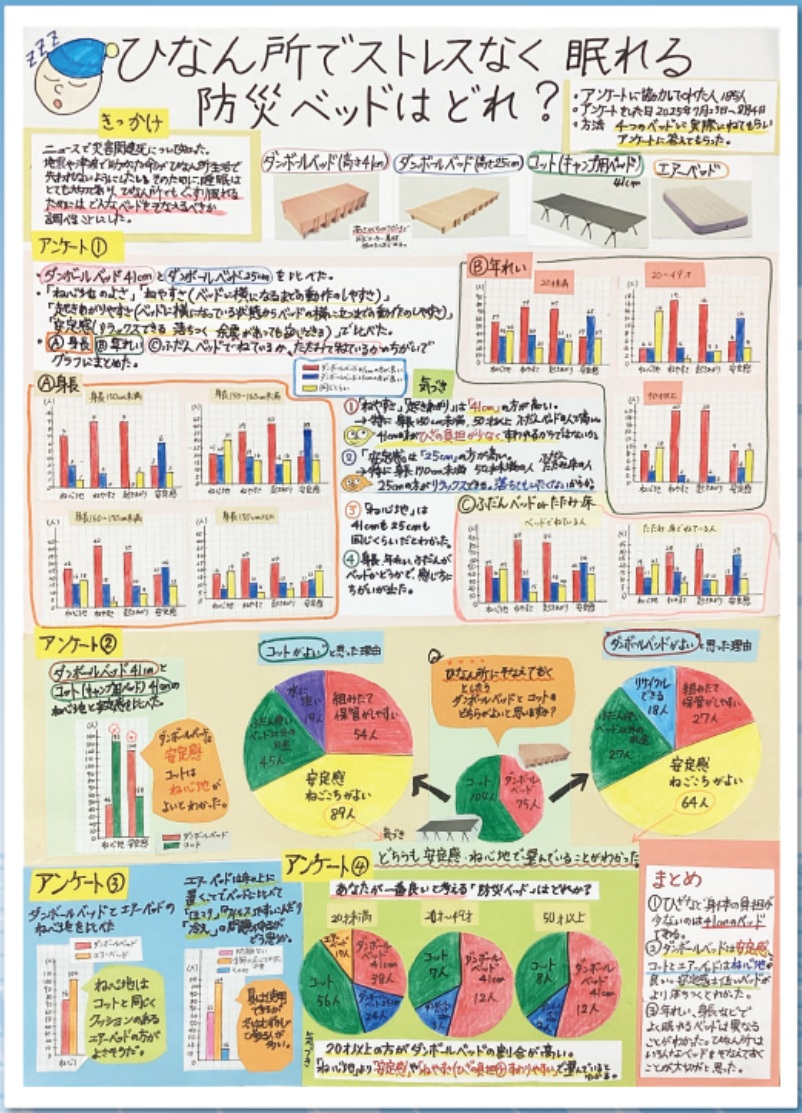
令和７年度

徳島県統計グラフコンクール

入賞作品集



徳島県統計グラフコンクールは、統計への理解を深めていただき、あわせて統計の表現技術向上に役立てていただくことを目的として毎年開催しています。

今回のコンクールでは、児童・生徒が描いた力作、総数84点の作品の応募がありました。

この作品集は、応募作品の中から、各賞を受賞した34点を部門ごとに掲載したものです。

また、このうちの3点が、第73回統計グラフ全国コンクールで入賞を果たしました。

目　次

徳島県統計グラフコンクール入賞作品

第1部

知事賞 …… 1
教育長賞 …… 2
統計協会長賞 …… 3
入選 …… 4

第2部

知事賞 …… 5
教育長賞 …… 6
統計協会長賞 …… 7
入選 …… 8、9

第3部

知事賞 …… 10
教育長賞、統計協会長賞 …… 11
入選 …… 12

第4部

知事賞 …… 13
教育長賞、統計協会長賞 …… 14
統計協会長賞、入選 …… 15

第5部

知事賞 …… 16
教育長賞、統計協会長賞 …… 17

第6部

知事賞 …… 18
教育長賞、統計協会長賞 …… 19
統計協会長賞、入選 …… 20

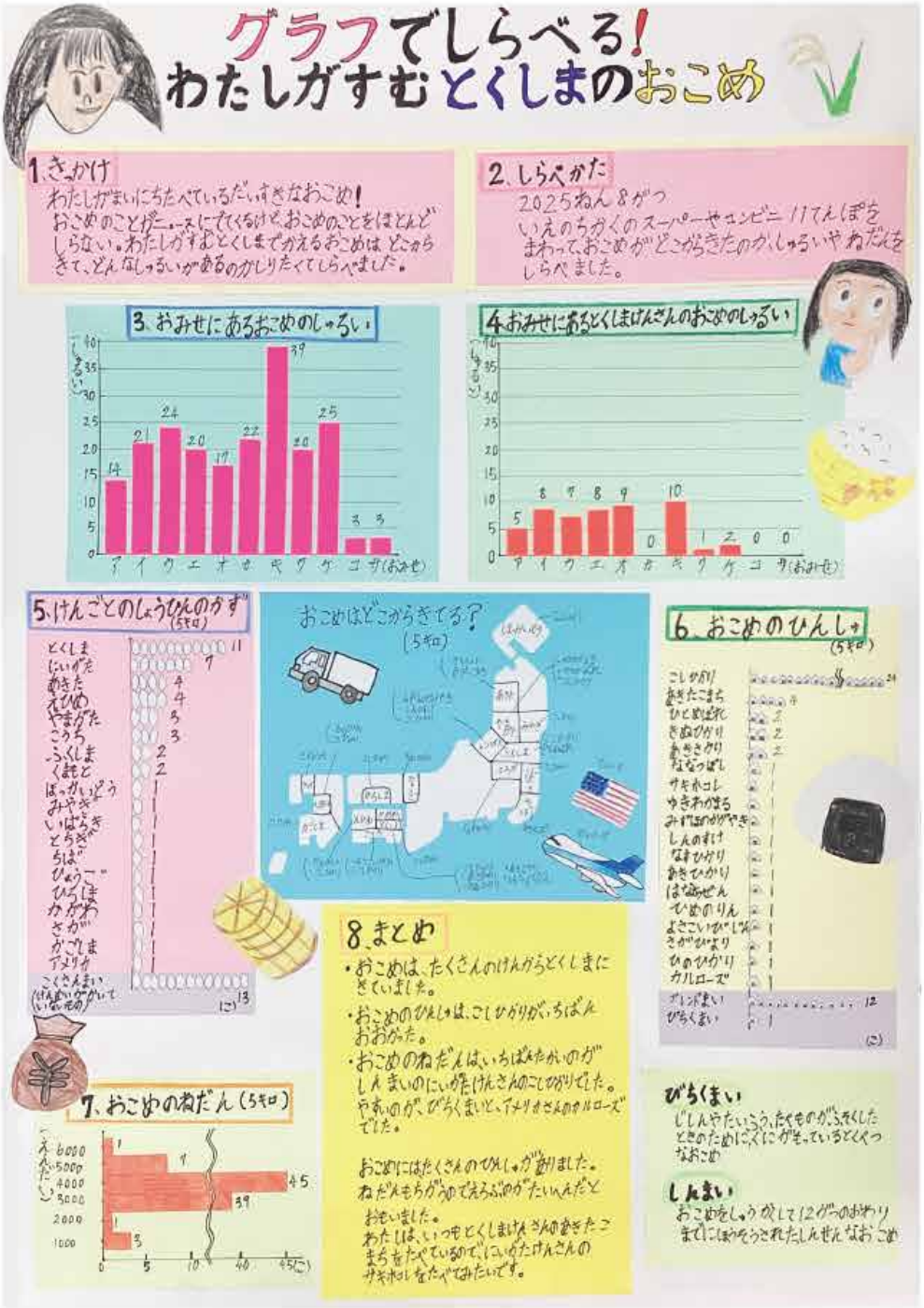
表紙写真は、令和7年度徳島県統計グラフコンクールで第2部の知事賞に、第73回統計グラフ全国コンクールで特選（金丸三郎賞）に入賞した作品です。

藍住町立藍住北小学校 4年　宮本真聡

知事賞

第73回統計グラフ全国コンクール 佳作

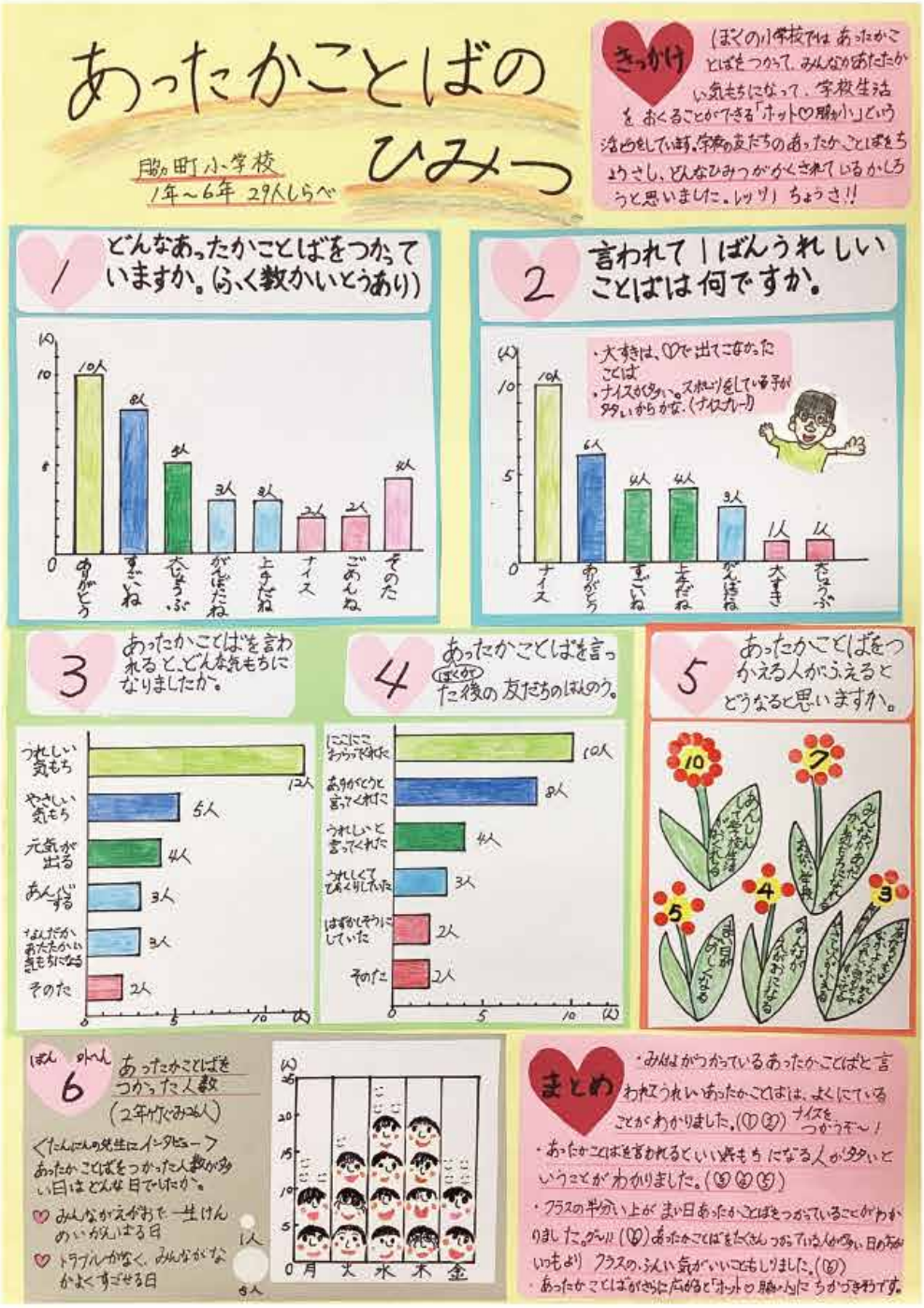
鳴門教育大学附属小学校 1年　青木 彩香



お米には色々な種類があることが分かった。

教育長賞

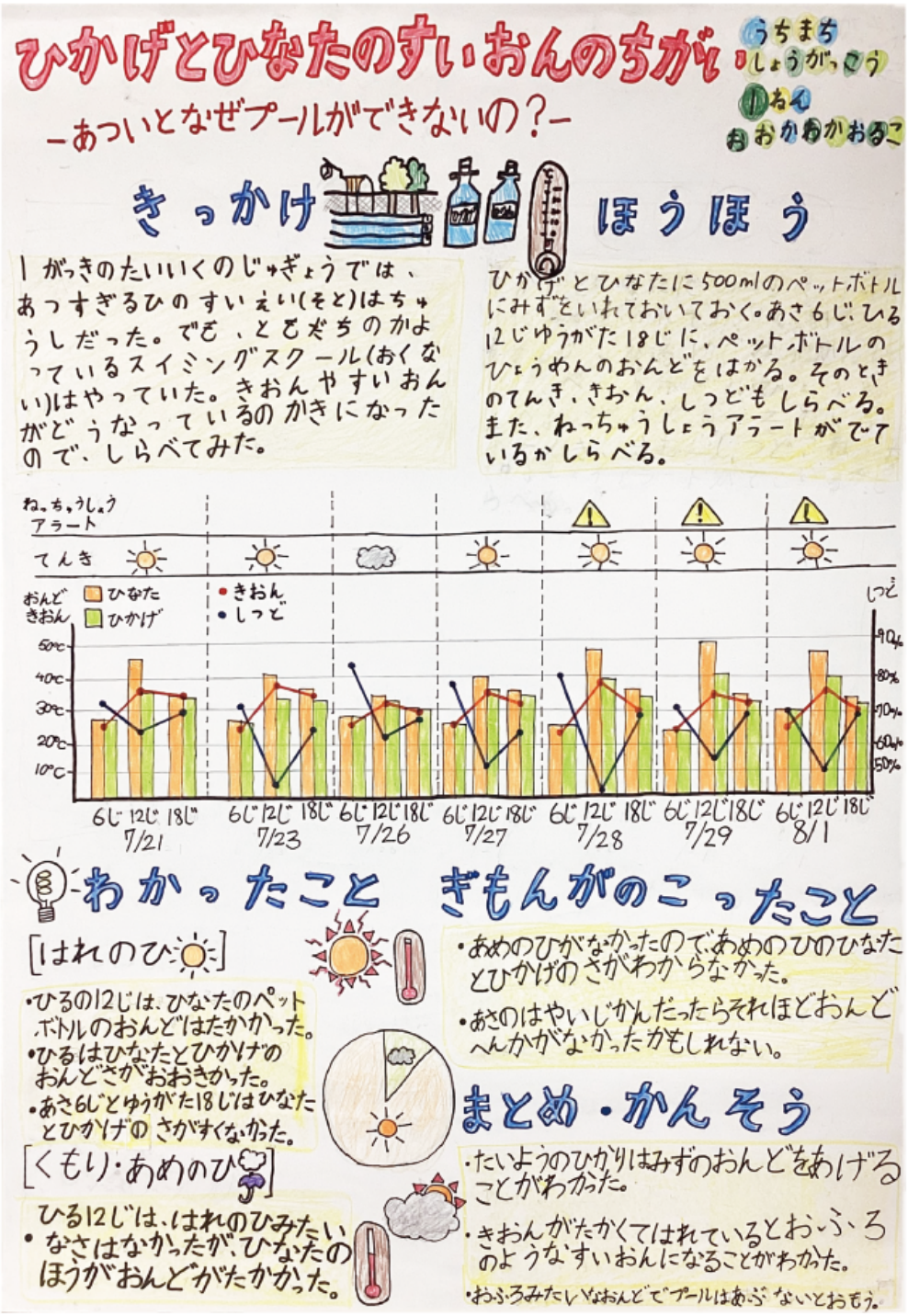
美馬市立脇町小学校 2年
田上 正大



あったかことばって、いいな♡と思いました。

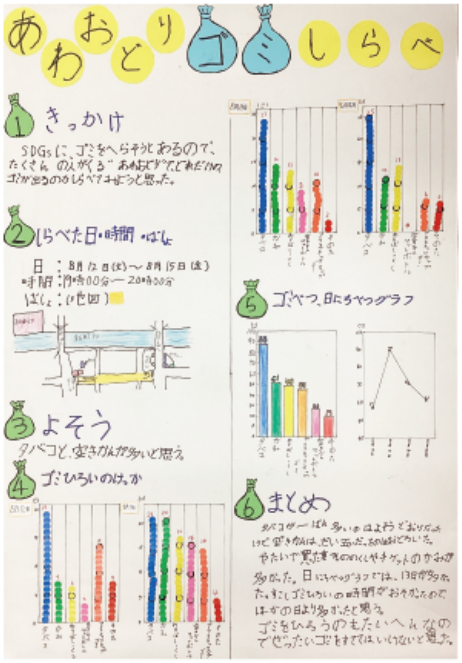
統計協会長賞

徳島市内町小学校 1年
大川 馨子



あつい日の外はきをつけようとおもいました。

入選　鳴門教育大学附属小学校
2年　板東 和奏



しらべたことを、SDGsにつなげたいです。

入選　鳴門教育大学附属小学校
2年　柳川 奈那

国きのもようをかくのがむずかしかったです。

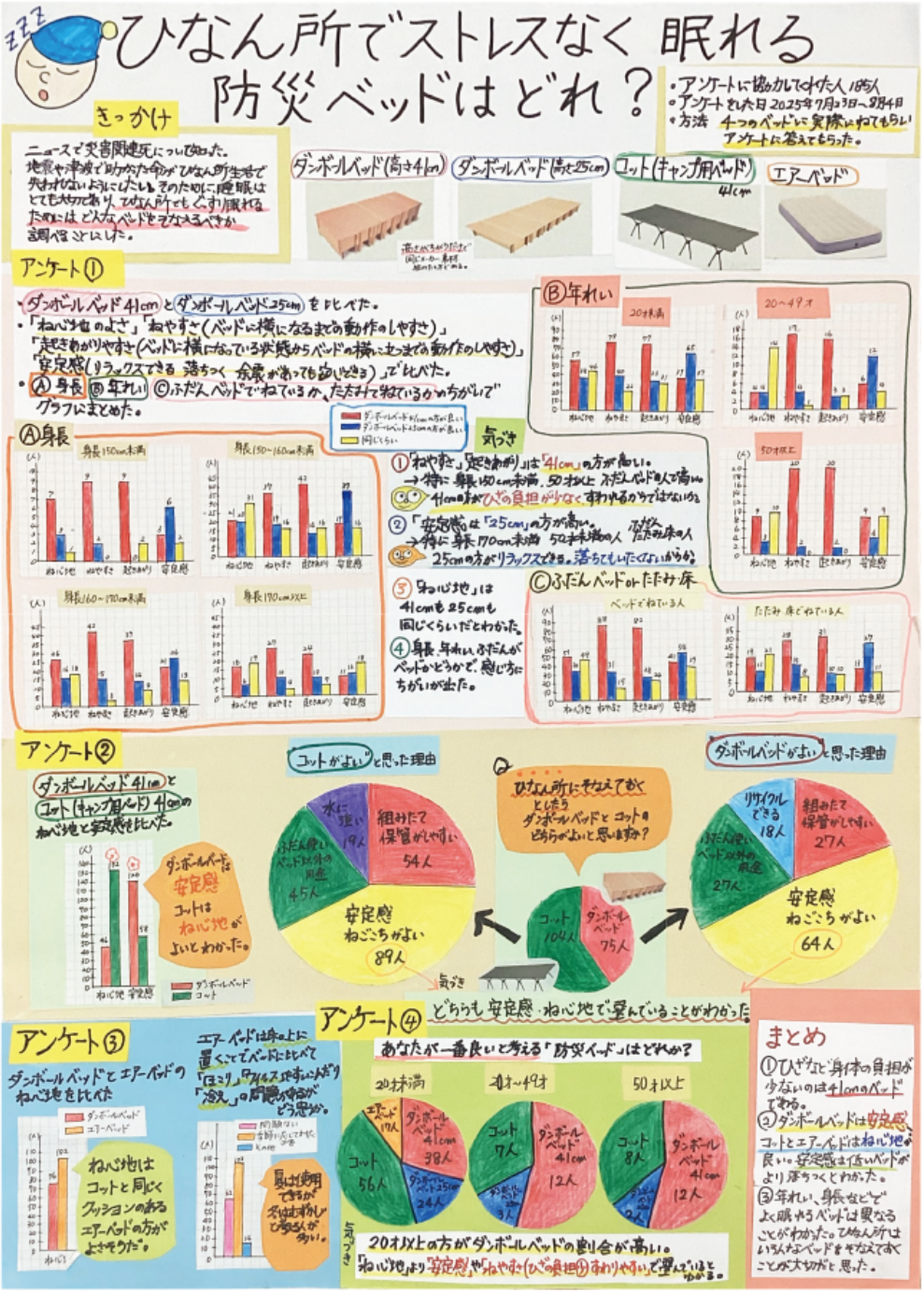
統計グラフ作成上の主な注意点（その1）

- 作品は、それぞれの「部」らしい作品であること。
- その学年時までに学習したグラフを使用していること。
- 話題性があり、独自に考えた内容のものを作成すること。
- 見出し（主題）に問題点が表れているか。見出し（主題）とグラフの内容があっているか。
- 幅や奥行きがあるか。
- グラフの数が多すぎないか、少なすぎないか。グラフの大きさは適当か。
- 画面に流れがあるか。左から右へ。上から下へ。
- 目盛りは「0」から始め、等間隔にする。また、目盛りに必要な単位を付ける。
- 1単位を示す「凡例」があるか。
- 1つのグラフの単位は一種類にする。グラフでは「その他」は最後にする。
- 棒グラフでは原則として、大きい順に並べる。
- 波線などの省略記号の表示はグラフも切って鮮明にする。
- 調べた日、調べた場所、調べた人数などを作品中に記入する。

知事賞

第73回統計グラフ全国コンクール 特選（金丸三郎賞）

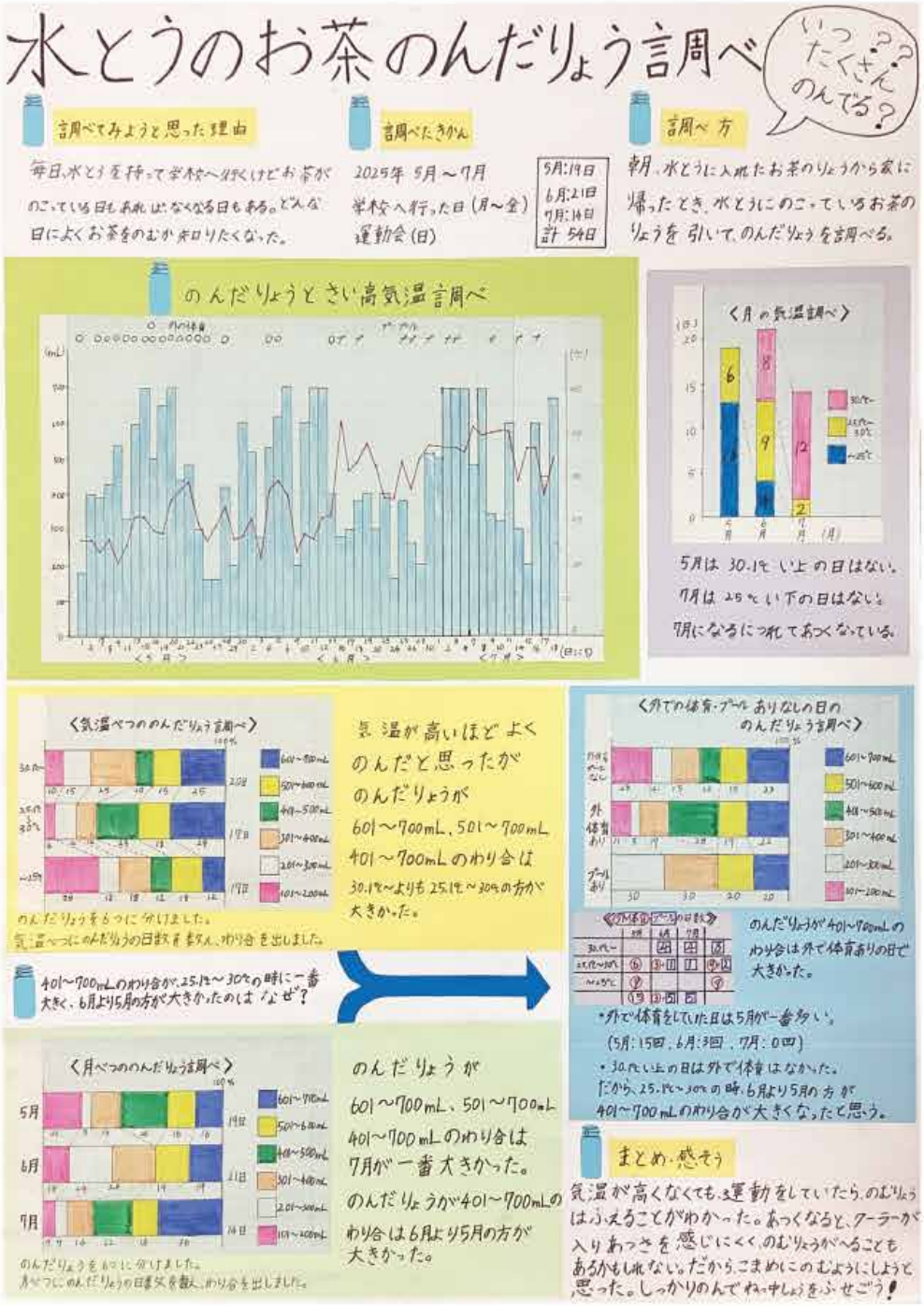
藍住町立藍住北小学校 4年　宮本 真聡



エクセルを入力するのが大変でした。

教育長賞

徳島市内町小学校 3年
堀田 あさひ



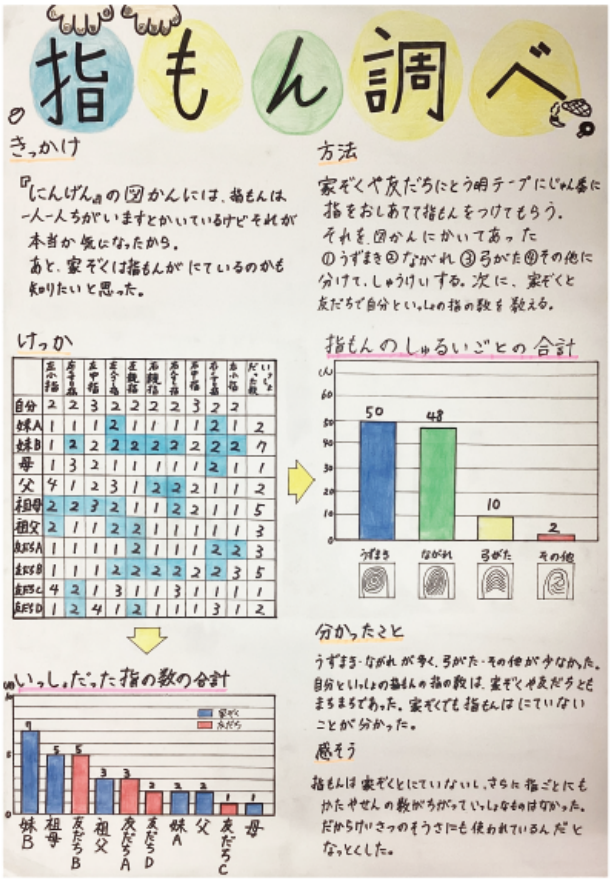
量と気温をグラフにするのがたいへんでした。

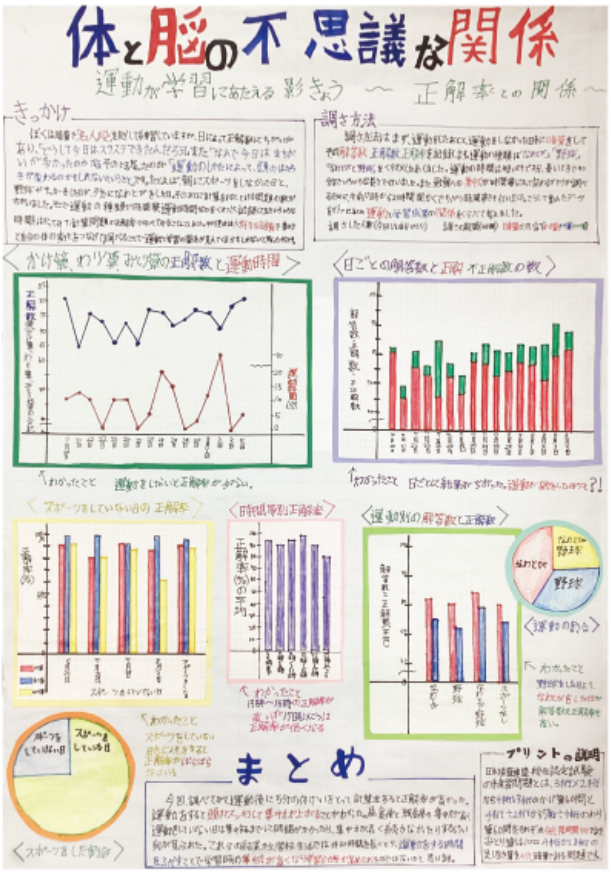
統計協会長賞

鳴門教育大学附属小学校 3年

上野 睦実

何人もの指もんを調べて
とても大変でした。





統計協会長賞

鳴門教育大学附属小学校 4年

梶 倫太朗

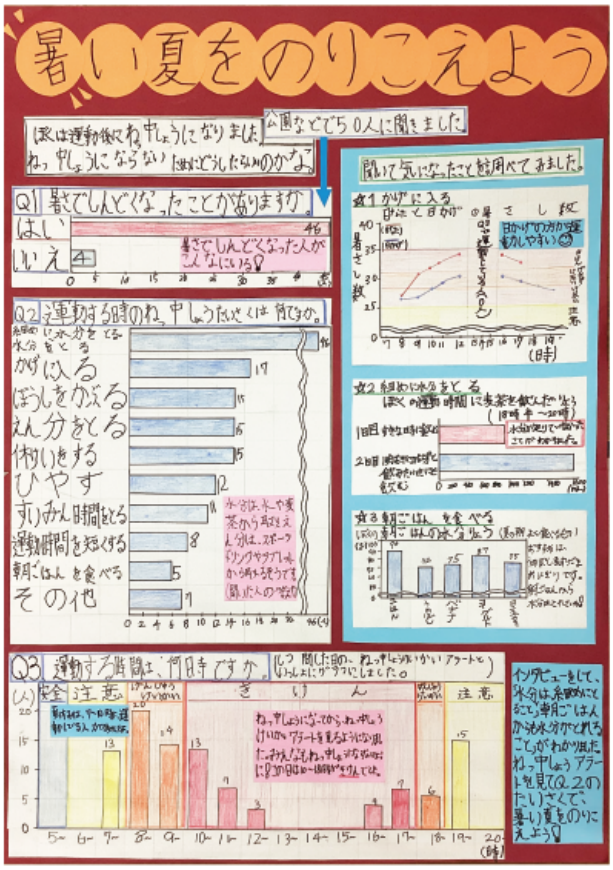
運動をすると、脳が活発
になりました。

入選

美馬市立江原南小学校 3年

村岡 瑛太

グラフにすると分かりやすいです。

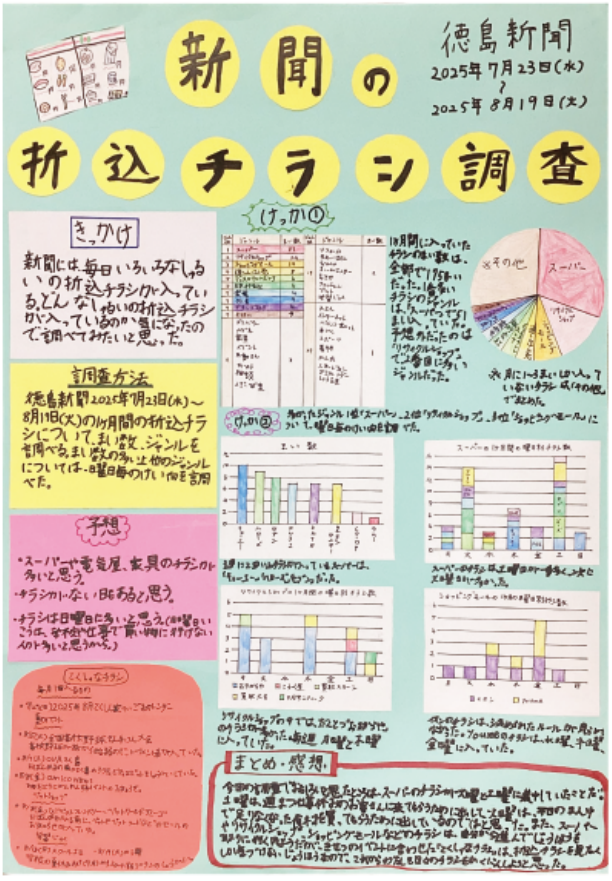


入選

鳴門教育大学附属小学校 3年

岡田 悠愛

色々な広告があって、おどろきでした。



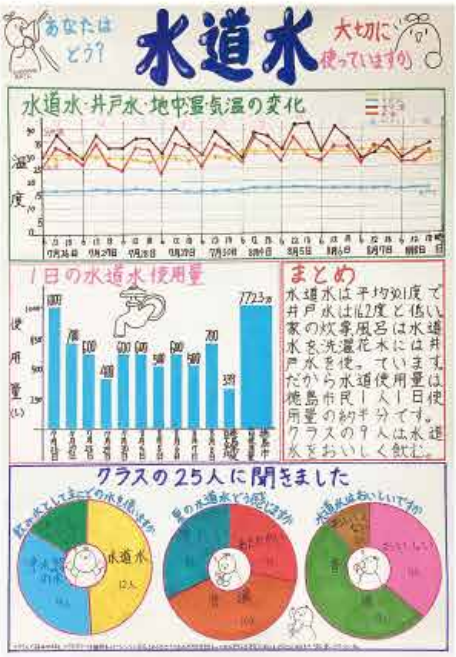
入選　鳴門教育大学附属小学校
3年　篠崎 雅哉

グラフを作成するのがむずかしかったです。

入選　鳴門教育大学附属小学校
3年　藤本 花怜

生産国を調べるのが、楽しかったです。

入選　徳島市加茂名南小学校
4年　宇山 碧織

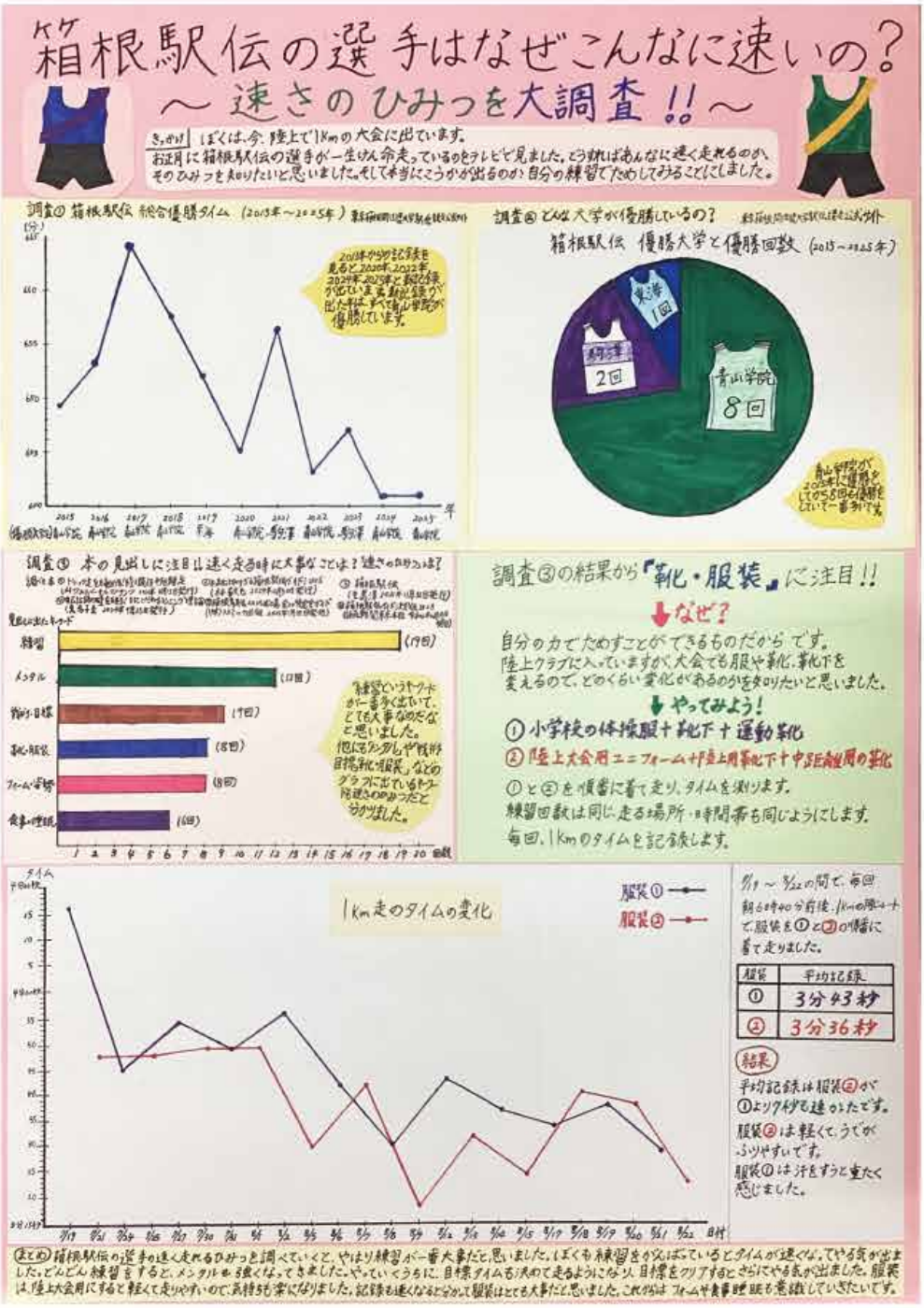


アンケートをまとめるのが難しかったです。

第2部
小学3〜4年生

知事賞

美馬市立脇町小学校 5年
小角 俊人



調べたことをためすと、速く走れました。

教育長賞

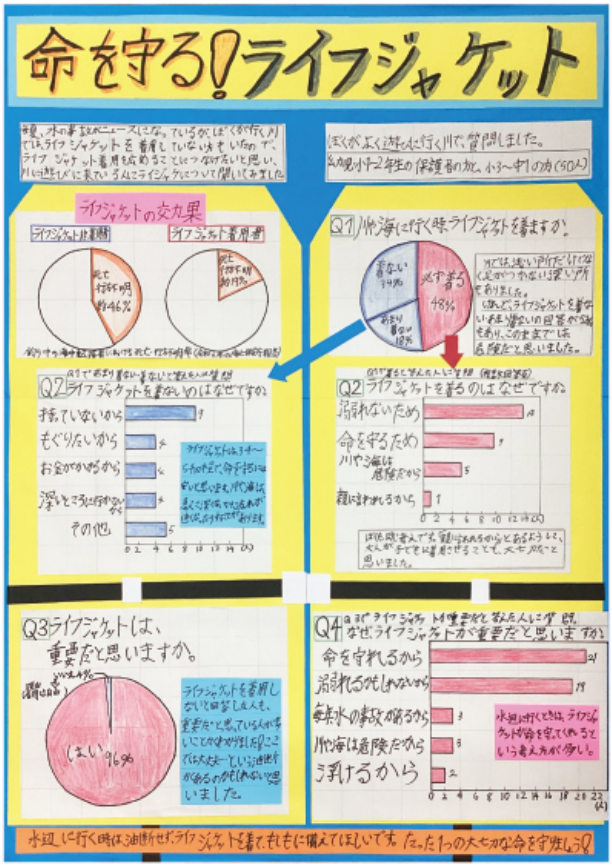
徳島市内町小学校 6年
荒川 遥香

身近なものの統計をとるのが楽しかった。

統計協会長賞

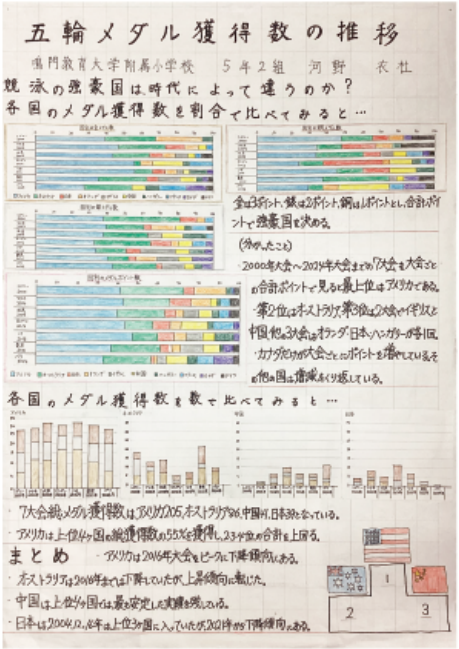
美馬市立江原南小学校 5年
村岡 航太郎

ライフジャケットの重要性が伝わるといいです。



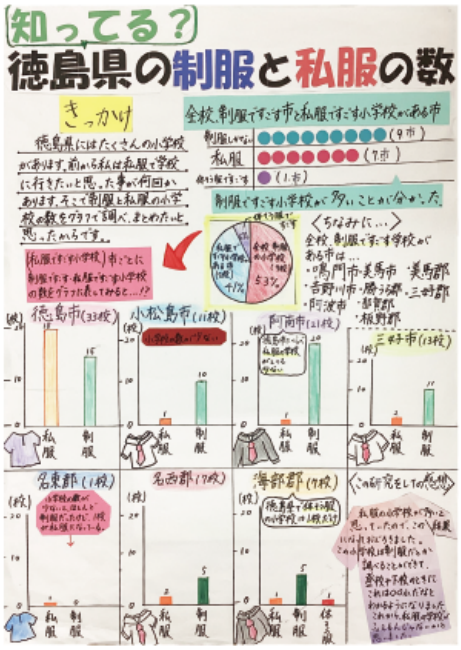
第3部
小学5～6年生

入選　鳴門教育大学附属小学校
5年　河野　衣杜



グラフを正確に書くのが難しかったです。

入選　鳴門教育大学附属小学校
5年　松本　奈央



制服の学校が多いことが分かった。

統計グラフ作成上の主な注意点（その2）

- グラフに魅力があるかどうか。
- イラストを入れる。読みやすい文字を読みやすく入れる。
- グラフとグラフ、また文字との間隔は適当になっているか。
- 図面全体の色彩の調和が取れているかどうか。
- 紙などを貼った場合は、はがれないようにする。

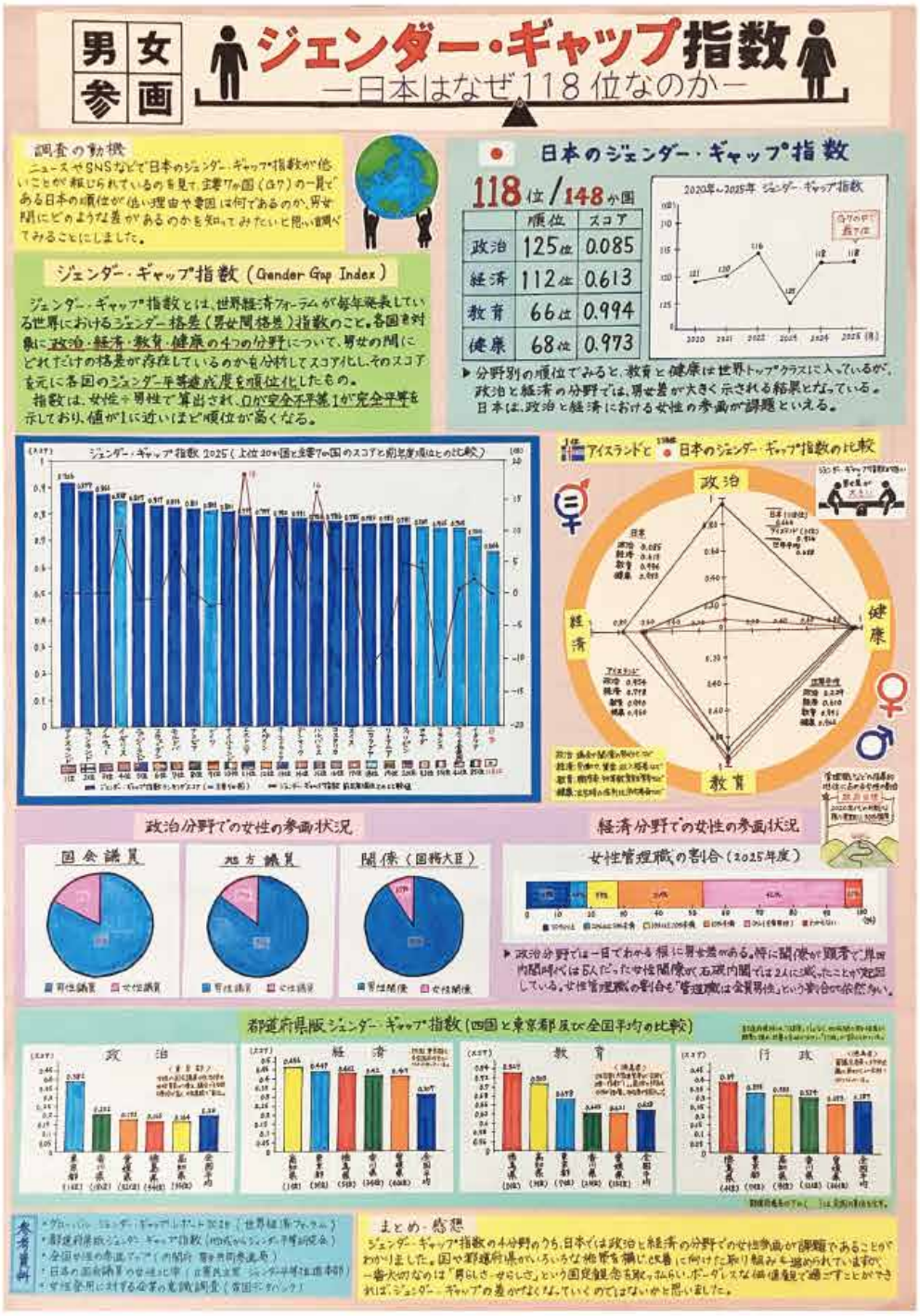
【参考】グラフの種類

- 棒グラフ…… 他と比較するのに適している。
- 折れ線グラフ…… 年、月など時系列を表すのに適している。
- 円グラフ・帯グラフ …… 割合を表すのに適している。
- 地図的統計グラフ …… 数値と地理を併せて表現できる。
- 面積グラフ・体積グラフ …… 数量の大小を比較するのに適している。
- 絵グラフ…… 見る人に興味を持たすことができる。

知事賞

第73回統計グラフ全国コンクール 入選

鳴門教育大学附属中学校 1年 蔭山 二瑚

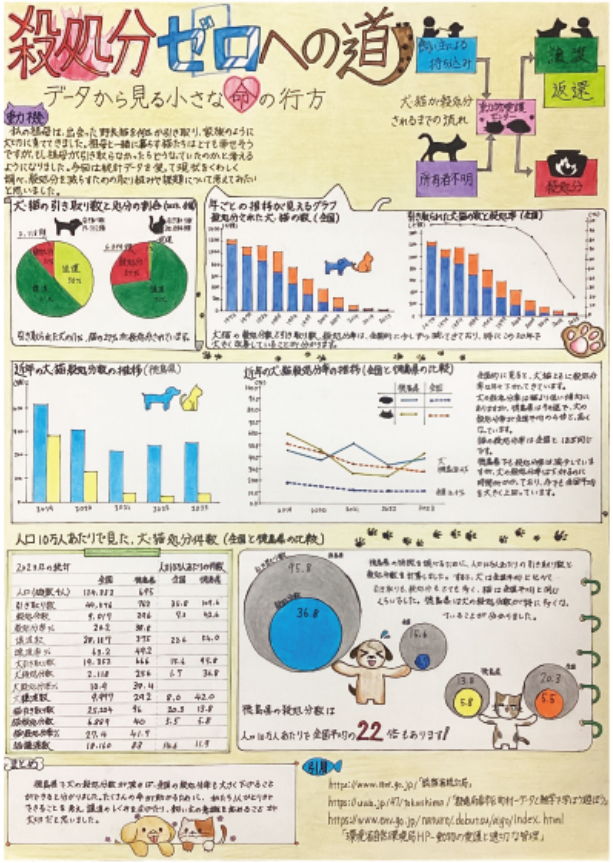


ジェンダーギャップについて理解が深まりました。

教育長賞

徳島県立城ノ内中等教育学校 3年
大崎 はる

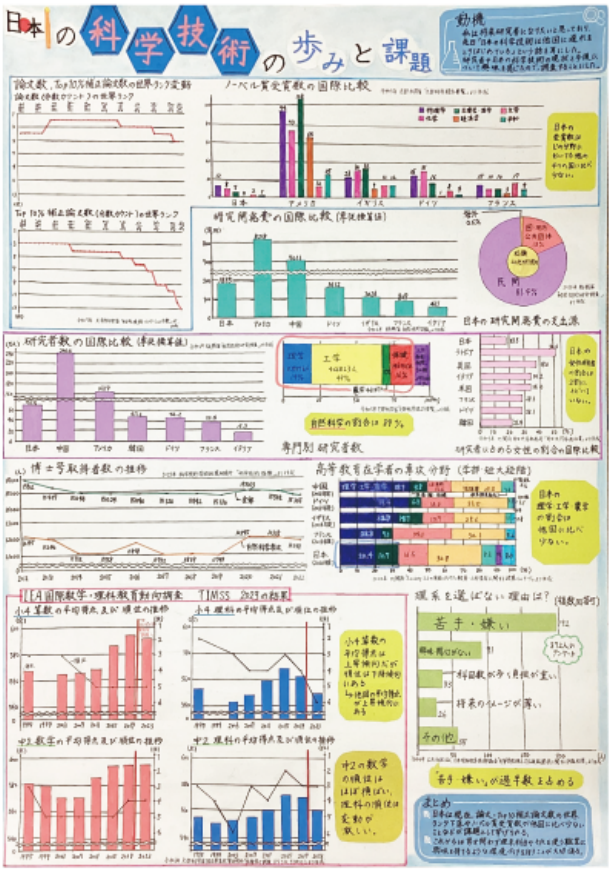
殺処分の差を一目で伝えるよう工夫した。



統計協会長賞

徳島県立城ノ内中等教育学校 3年
原田 愛禾

多角的に調べることを心がけ、作成した。



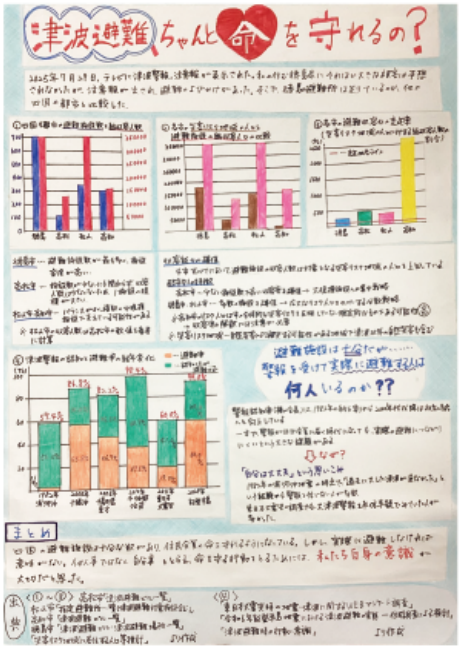
統計協会長賞

徳島県立城ノ内中等教育学校 3年
髙橋 陸

今後の情報社会について理解が深まった。

入選

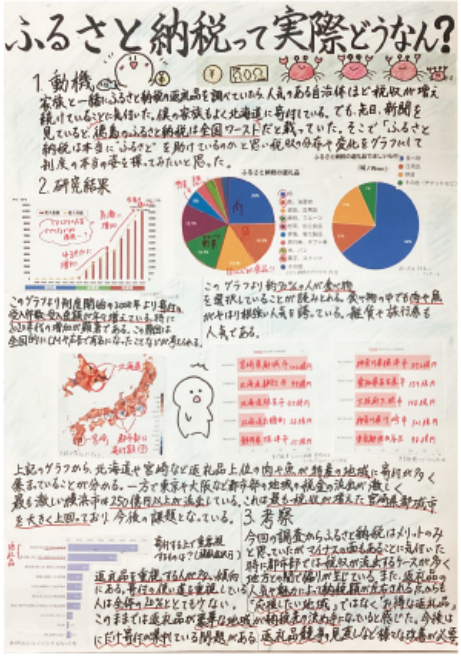
徳島県立城ノ内中等教育学校
3年 **岡田 愛凜**



いくつかの資料をまとめるのが大変だった。

入選

徳島県立城ノ内中等教育学校
3年 **梶本 昂汰**

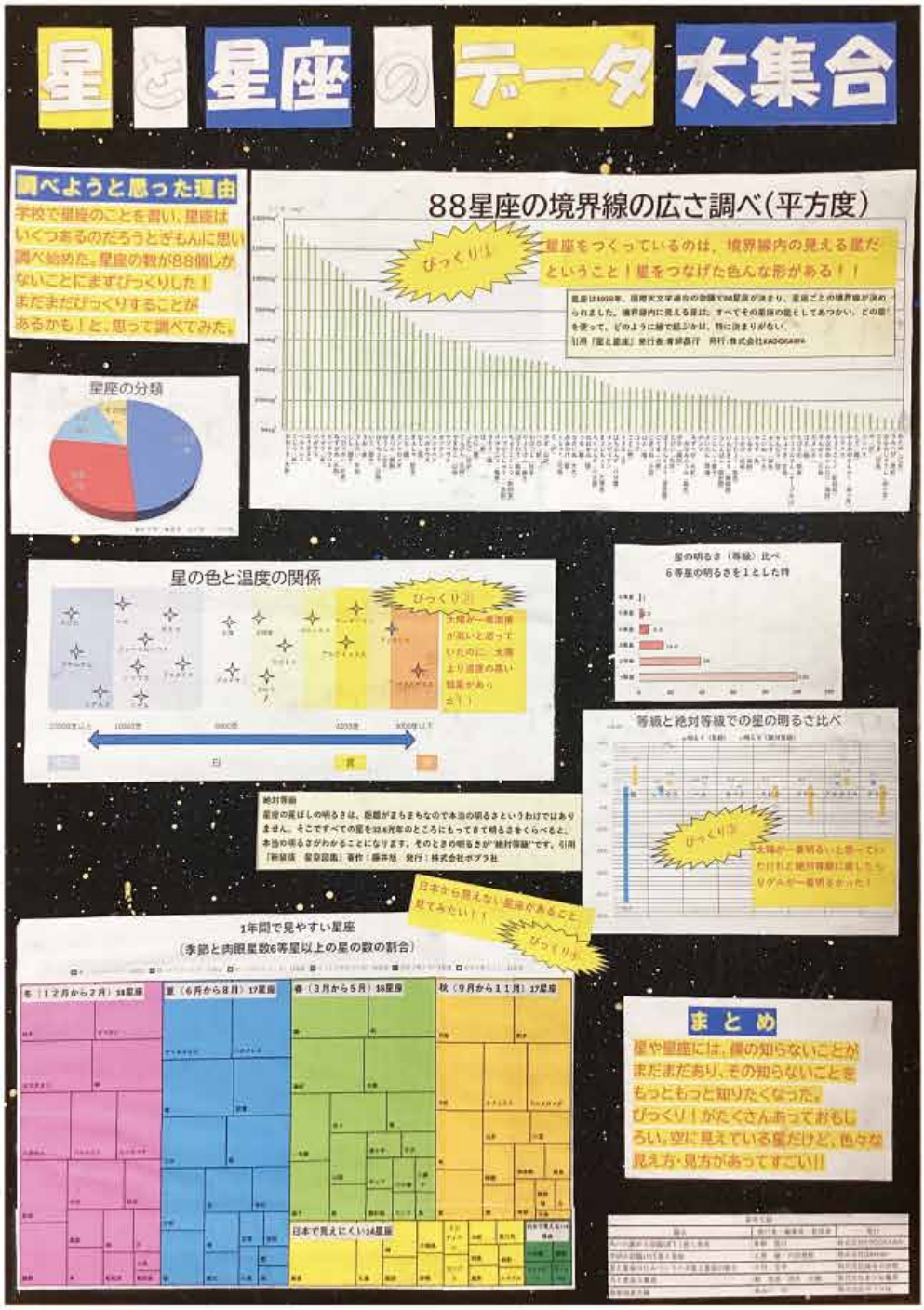


グラフ化してふるさと納税がよく理解できた。

第4部 中学生

知事賞

徳島市南井上小学校 5年
竹内 優人

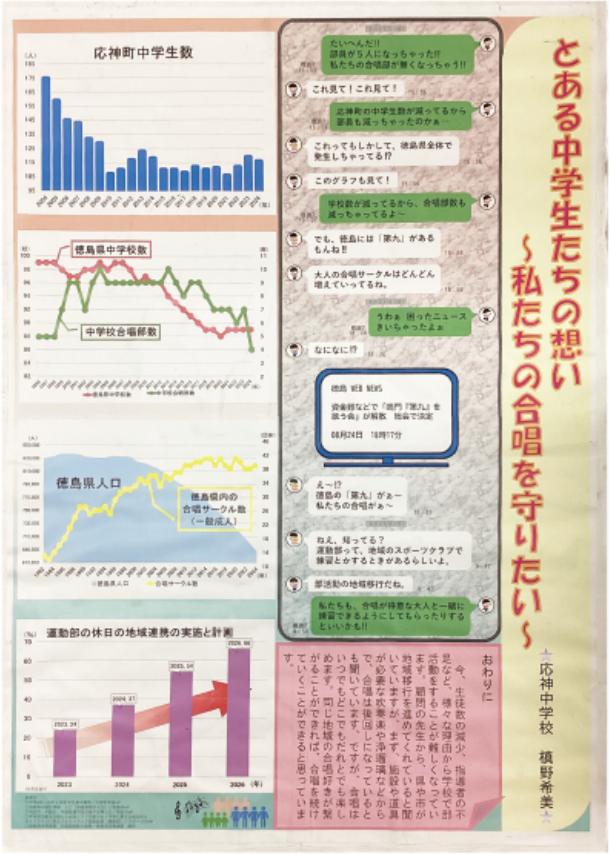


背景に力を入れました。

教育長賞

徳島市応神中学校 2年
槙野 希美

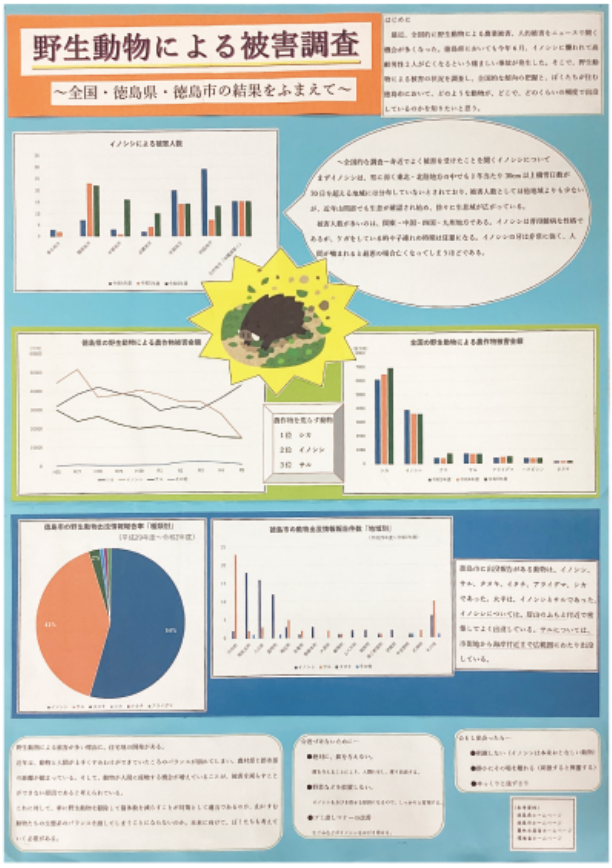
意見を伝える手段に統計は有効だと実感した。



統計協会長賞

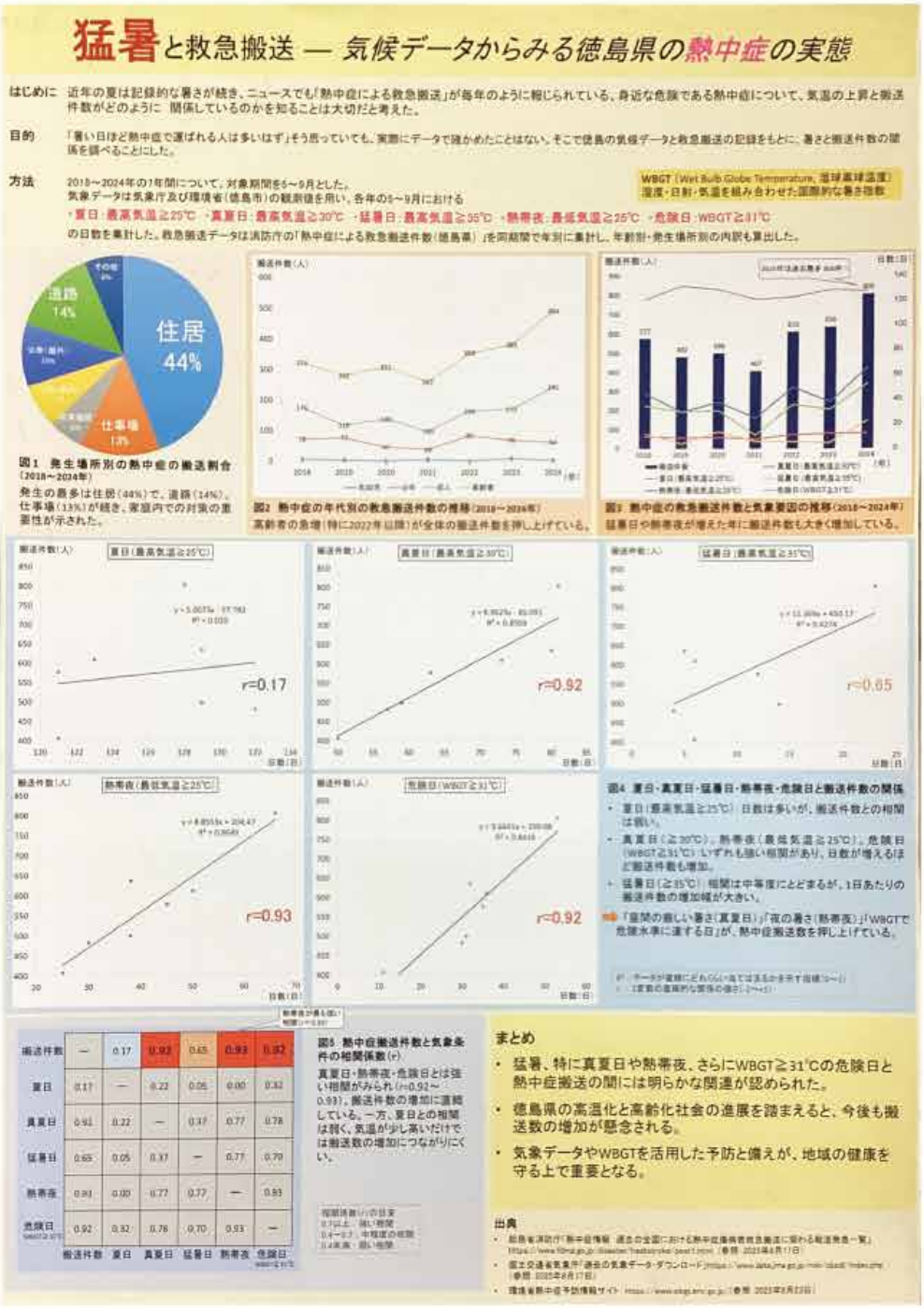
鳴門教育大学附属小学校 5年
新居 輝大

パワーポイントで様々なグラフに挑戦した。



知事賞

徳島文理高等学校 1年
音見 怜和



猛暑と救急搬送 — 気候データからみる徳島県の熱中症の実態

はじめに 近年の夏は記録的な暑さが続き、ニュースでも「熱中症による救急搬送」が毎年のように報じられている。身近な危険である熱中症について、気温の上昇と搬送件数がどのように 関係しているのかを知ることは大切だと考えた。

目的 「暑い日ほど熱中症で運ばれる人は多いはず」そう思っていても、実際にデータで確かめたことはない。そこで徳島の気候データと救急搬送の記録をもとに、暑さと搬送件数の関係を調べることにした。

方法 2018～2024年の7年間について、対象期間を5～9月とした。
気象データは気象庁及び環境省（徳島市）の観測値を用い、各年の5～9月における
・夏日：最高気温≧25℃ ・真夏日：最高気温≧30℃ ・猛暑日：最高気温≧35℃ ・熱帯夜：最低気温≧25℃ ・危険日：WBGT≧31℃
の日数を集計した。救急搬送データは消防庁の「熱中症による救急搬送件数（徳島県）」を同期間で年別に集計し、年齢別・発生場所別の内訳も算出した。

WBGT（Wet Bulb Globe Temperature、湿球黒球温度）
湿度・日射・気温を組み合わせた国際的な暑さ指数

図1 発生場所別の熱中症の搬送割合（2018～2024年）
発生の最多は住居（44%）で、道路（14%）、仕事場（13%）が続き、家庭内での対策の重要性が示された。

図2 熱中症の年代別の救急搬送件数の推移（2018～2024年）
高齢者の急増（特に2022年以降）が全体の搬送件数を押し上げている。

図3 熱中症の救急搬送件数と気象要因の推移（2018～2024年）
猛暑日や熱帯夜が増えた年に搬送件数も大きく増加している。

図4 夏日・真夏日・猛暑日・熱帯夜・危険日と搬送件数の関係
- 夏日（最高気温≧25℃）：日数は多いが、搬送件数との相関は弱い。
- 真夏日（≧30℃）、熱帯夜（最低気温≧25℃）、危険日（WBGT≧31℃）：いずれも強い相関があり、日数が増えるほど搬送件数も増加。
- 猛暑日（≧35℃）：相関は中等度にとどまるが、1日あたりの搬送件数の増加幅が大きい。

➡「昼間の厳しい暑さ（真夏日）」「夜の暑さ（熱帯夜）」「WBGTで危険水準に達する日」が、熱中症搬送数を押し上げている。

r：データが直線にどれくらい近ではまるかを示す指標（-1～1）
r：2変数の直線的な関係の強さ（-1～1）

	搬送件数	夏日	真夏日	猛暑日	熱帯夜	危険日
搬送件数	—	0.17	0.92	0.65	0.93	0.92
夏日	0.17	—	0.22	0.05	0.00	0.02
真夏日	0.92	0.22	—	0.37	0.77	0.78
猛暑日	0.65	0.05	0.37	—	0.77	0.70
熱帯夜	0.93	0.00	0.77	0.77	—	0.93
危険日（WBGT≧31℃）	0.92	0.02	0.78	0.70	0.93	—

図5 熱中症搬送件数と気象条件の相関係数（r）
真夏日・熱帯夜・危険日とは強い相関がみられ（r=0.92～0.93）、搬送件数の増加に直結している。一方、夏日との相関は弱く、気温が少し高いだけでは搬送数の増加につながりにくい。

相関係数（r）の目安
0.7以上：強い相関
0.4～0.7：中程度の相関
0.4未満：弱い相関

まとめ
- 猛暑、特に真夏日や熱帯夜、さらにWBGT≧31℃の危険日と熱中症搬送の間には明らかな関連が認められた。
- 徳島県の高温化と高齢化社会の進展を踏まえると、今後も搬送数の増加が懸念される。
- 気象データやWBGTを活用した予防と備えが、地域の健康を守る上で重要となる。

出典
- 総務省消防庁「熱中症情報 過去の全国における熱中症傷病者救急搬送に関する報道発表一覧」https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post1.html（参照 2025年8月17日）
- 国土交通省気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/（参照 2025年8月17日）
- 環境省熱中症予防情報サイト https://www.wbgt.env.go.jp/（参照 2025年8月23日）

暑さと熱中症の搬送の関係を実感できた。

教育長賞

徳島市立高等学校 2年

建部 来幸

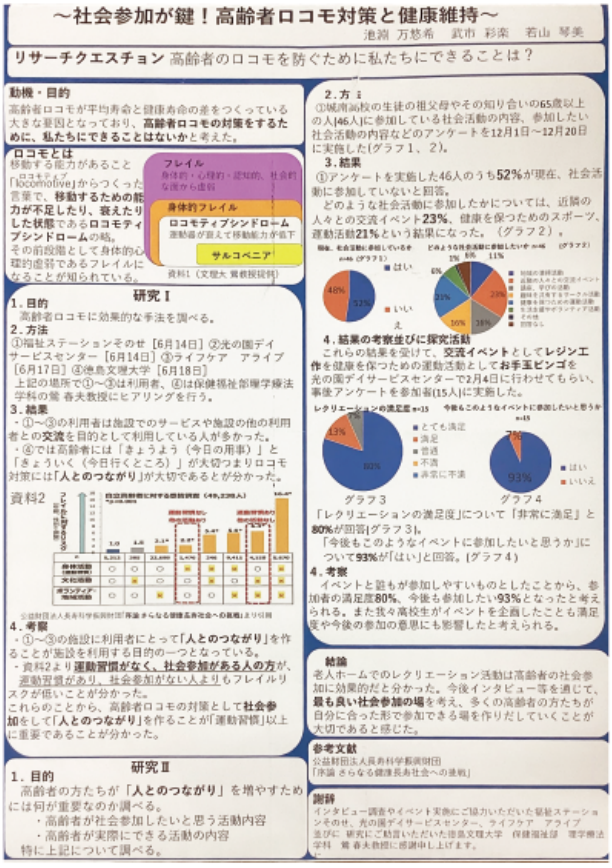
分かりやすくなるように意識しました。

統計協会長賞

徳島県立城南高等学校 3年

池淵 万悠希
武市 彩楽
若山 琴美

高齢者に喜んでもらえるイベントができた。

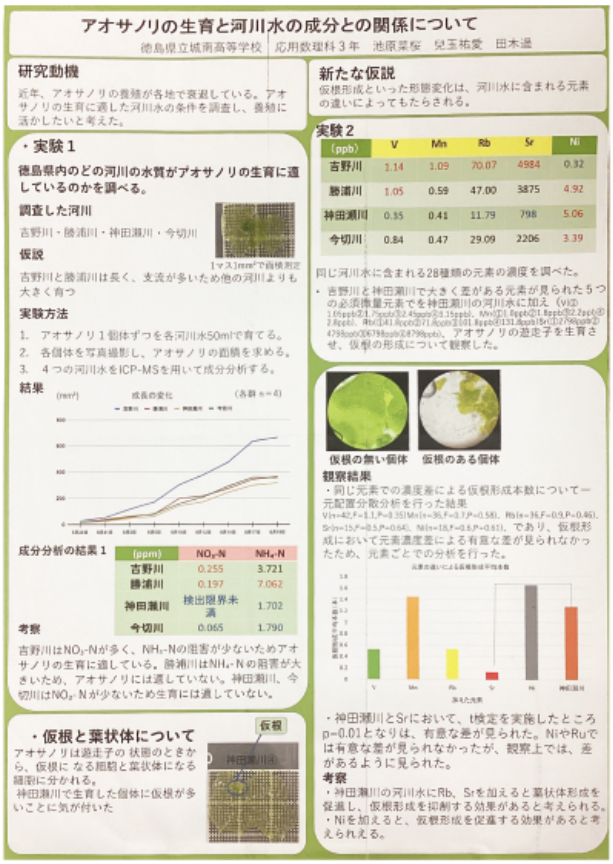


統計協会長賞

徳島県立城南高等学校 3年

池原 菜桜
兒玉 祐愛
田木 遥

データの処理に苦労しました。



入選

徳島県立城南高等学校 3年

高麗 渚央　坂本 陽光
徳元 優樹

仮説検定をPCソフトを用い、行いました。

入選

一般 笠江 由美

生徒の学び方を知る糸口になりました。

統計グラフ作成上の主な注意点（その3）

- 誤字、脱字、記入漏れに注意する。特に、資料の数値とグラフが符合していること。
- テレビアニメや漫画のキャラクターなど著作権のあるもの、商品名、会社名等は使わない。
- 自己の観察によるときは観察記録を添付する。他から資料を得た場合は、資料の出所（調査年度・調査名・調査実施機関）を作品中に明記し、添付する。集めた資料を使用した場合、資料中のグラフをそのまま作品に取り込まないこと。
- 統計表、観察記録、資料等はＡ４又はＢ５の用紙とし、所定の箇所に貼り付ける。

入賞作品数について

次のとおり各部ごとに入賞作品数を決定しています。

知事賞	1点以内
教育長賞（児童、生徒、学生に限る）	1点以内
統計協会長賞	2点以内
入選	5点以内
奨励賞	若干の作品

徳島県統計グラフ優秀校について

- 県では、徳島県における統計思想の普及及び統計教育の振興を図ることを目的として、徳島県統計グラフ優秀校の表彰を行っています。
- 徳島県統計グラフコンクールに作品を出品いただき、次の各号のいずれかに該当する学校から、原則として、小学校、中学校（中等教育学校（前期課程）を含む）及び高等学校ごとに各１校を優秀校に決定しています。

（１）コンクールに出品した作品が2点以上入選していること。
（２）コンクールに出品した作品が１点入選し、かつ５点以上の出品点数があること。

令和7年度徳島県統計グラフコンクール優秀校

小　学　校	鳴門教育大学附属小学校
中　学　校	徳島県立城ノ内中等教育学校
高 等 学 校	徳島県立城南高等学校

徳島県統計協会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1
徳島県企画総務部統計課内
電話 088-621-2134